

平成28年11月11日

各位

会社名 株式会社アスサポート・ダイニング
 代表者名 代表取締役社長 中村 敏夫
 (コード番号 3069 JASDAQ)
 問合せ先 法務総務部長 尾崎 富彦
 (TEL.03-6311-8892)

平成29年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と本日発表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異

平成29年3月期第2四半期連結累計期間実績との差異(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,480	百万円 402	百万円 369	百万円 210	円 銭 7.16
今回業績(B)	17,385	595	459	244	8.52
増減額(B-A)	2,905	193	90	34	—
増減率(%)	20.0	48.0	24.3	16.1	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	8,225	292	260	239	11.27

2. 差異及び修正の理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、2016年4月に熊本県や大分県で発生した地震により、生産事業部門である九州乳業株式会社並びに株式会社弘乳舎において事業の継続への悪影響が懸念されたことから、同2社の業績予想は予め保守的に策定いたしました。しかしながら、当該影響は限定的であったことに加え復興需要等も相まって、売上高は九州乳業株式会社が予算比120.6%(前年同期比108.5%)、株式会社弘乳舎が予算比118.6%(前年同期比106.7%)と増収となったことが差異の主要因であります。

また営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の増益に関しても同様の理由によるものでありますが、経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益の増益幅が営業利益と比べて限定的であるのは、営業外損益において海外子会社への貸付金に係る為替差損、及び前述の震災の影響による特別損失の発生によるものであります。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点において修正はありません。今後の業績の進捗状況に応じて、修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

以上